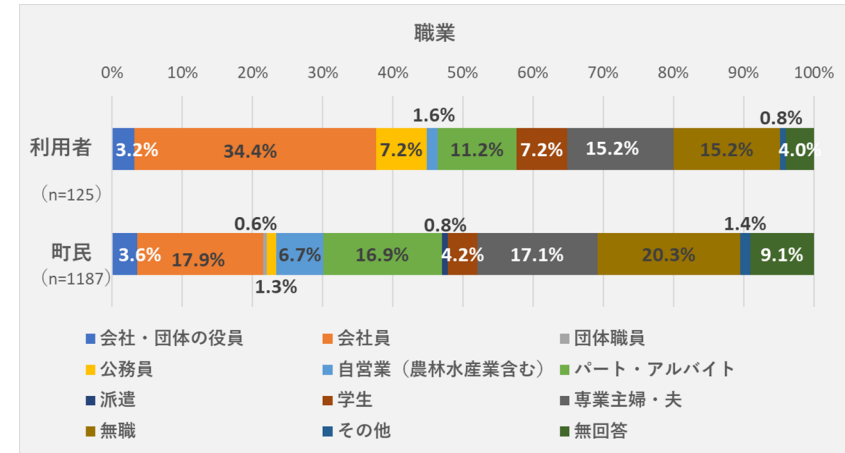
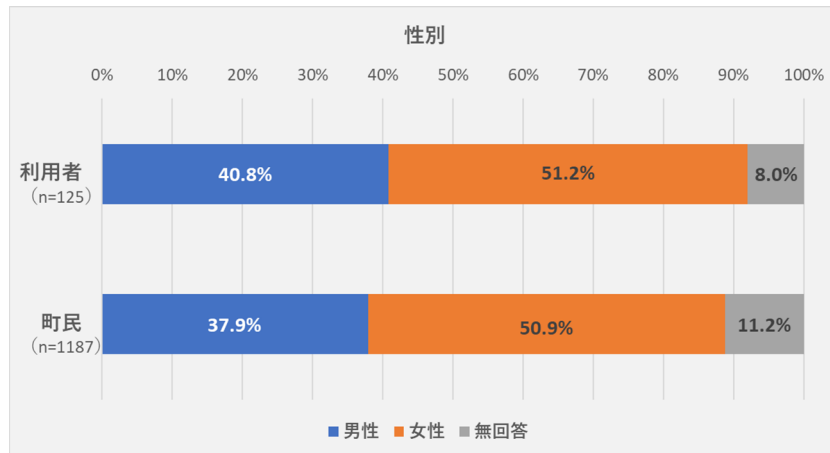
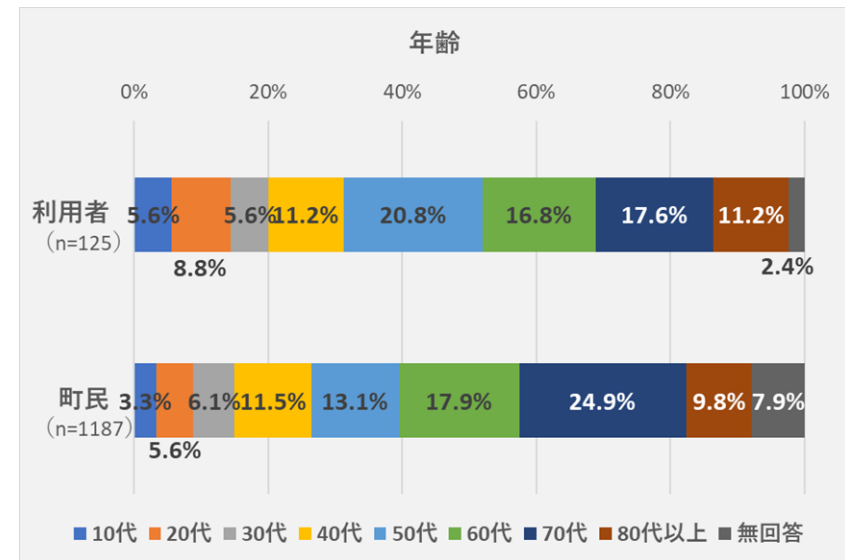
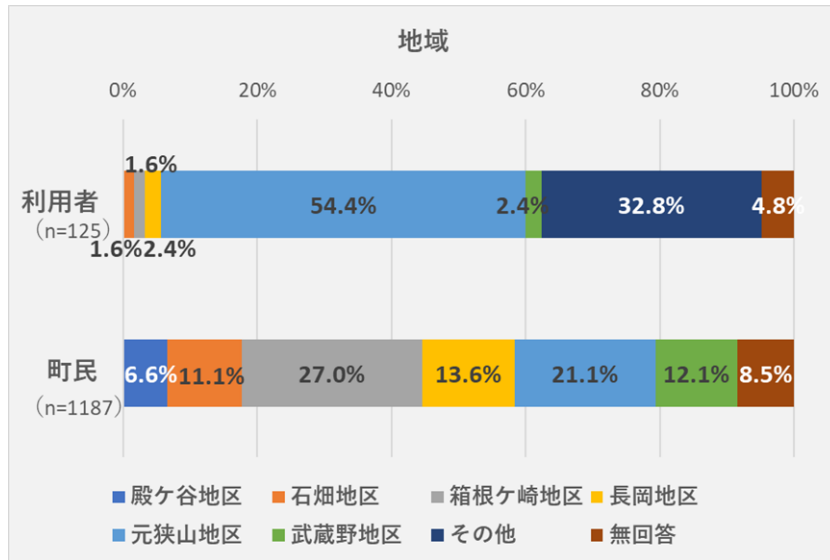


# アンケート調査について

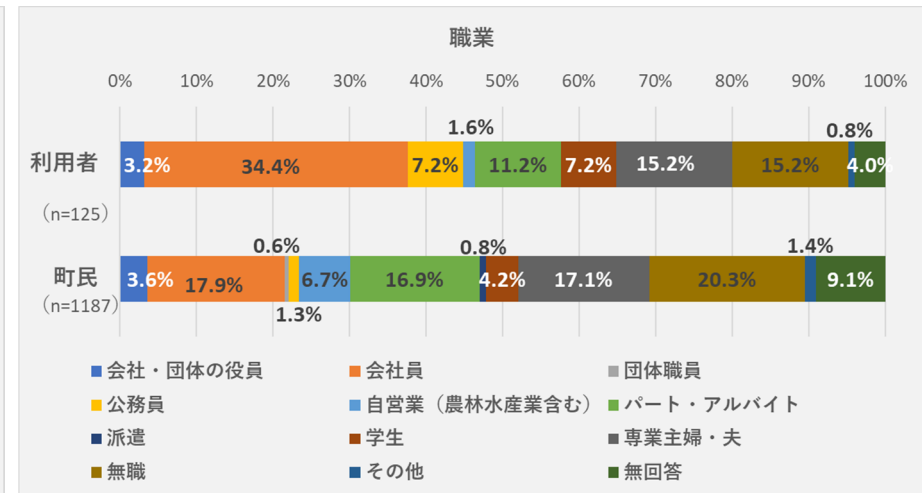
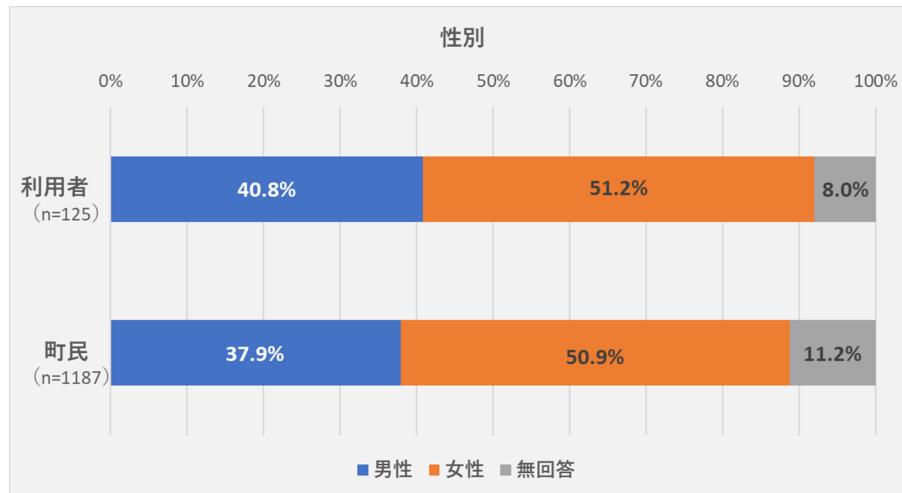
	利用者アンケート	沿道町民アンケート
調査目的	コミュニティバスの利用実態および利用者の評価、意見の把握	町民の移動実態およびコミュニティバスに対する考え方の把握
調査手法	バス内での手渡し、設置での配布 郵送回収	郵送配布・郵送回収
調査対象	コミュニティバス各路線の利用者	町内在住の16歳以上
調査日時	手渡し：5/23（月）～5/29（日） 設置：6/2（木）～6/17（金）	6/2（木）～6/27（月）
有効回収率	<b>34.0%</b> (配布368通・有効回答125件)	<b>39.6%</b> (配布3000通・有効回答1187件)

- 利用者では、元狭山地区が54.4%と高く、その他（町外）も32.8%
- 利用者では50代（20.8%）、町民では70代（24.9%）の回答が最多



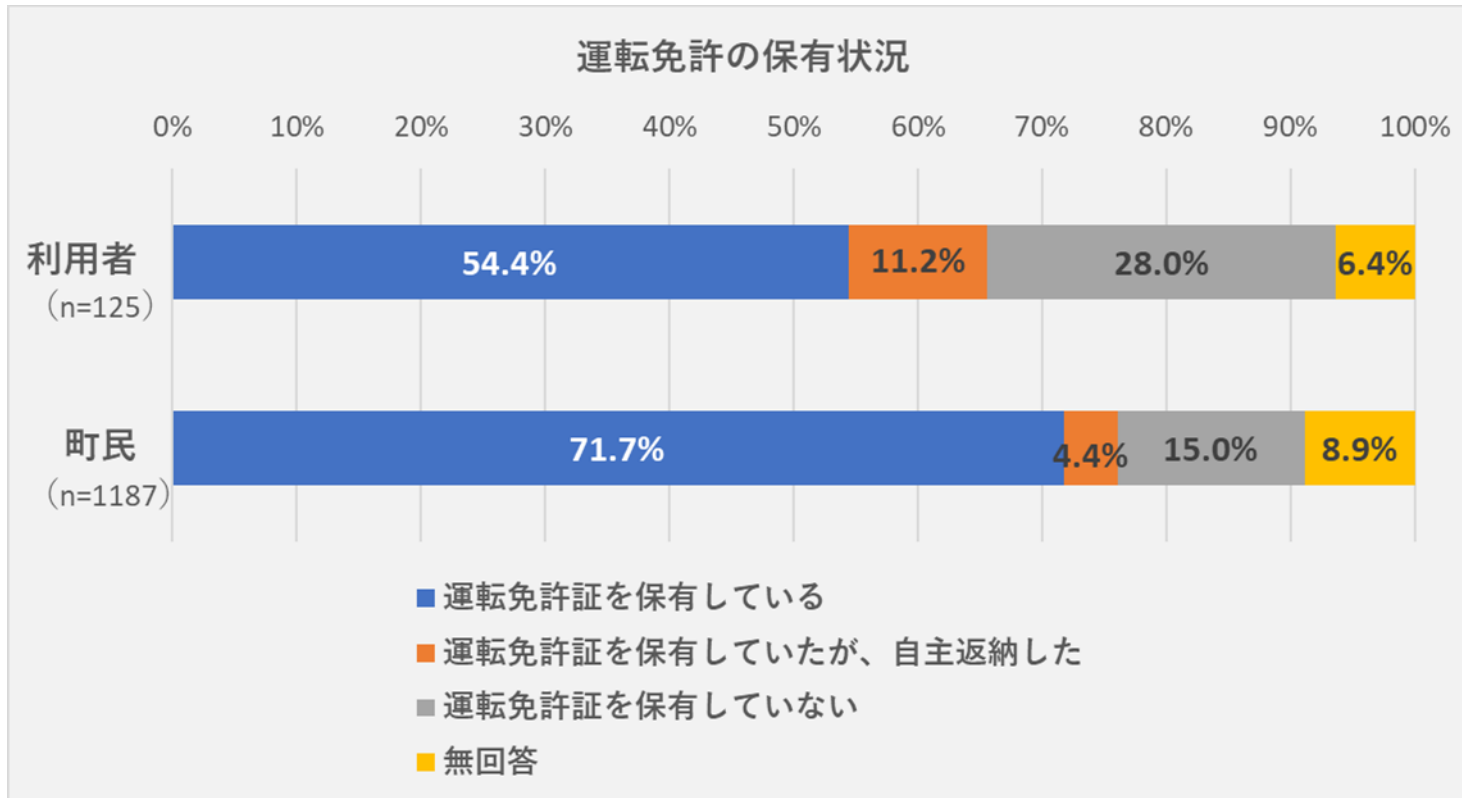
<利用者アンケートおよび町民アンケートより、単一回答>

- 利用者では、会社員が34.4%で最も高い



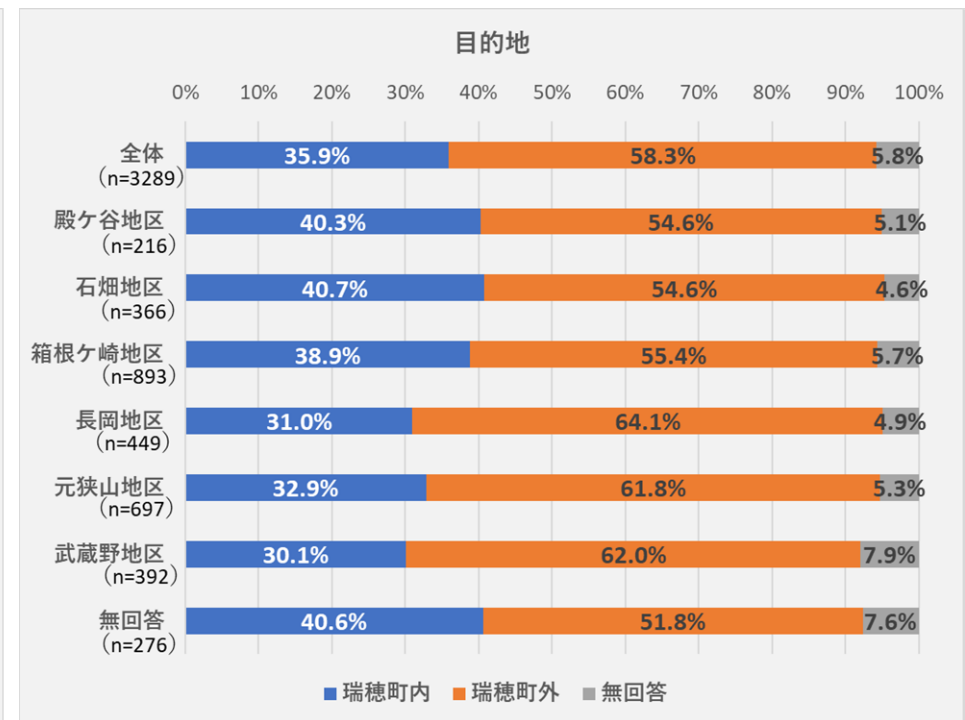
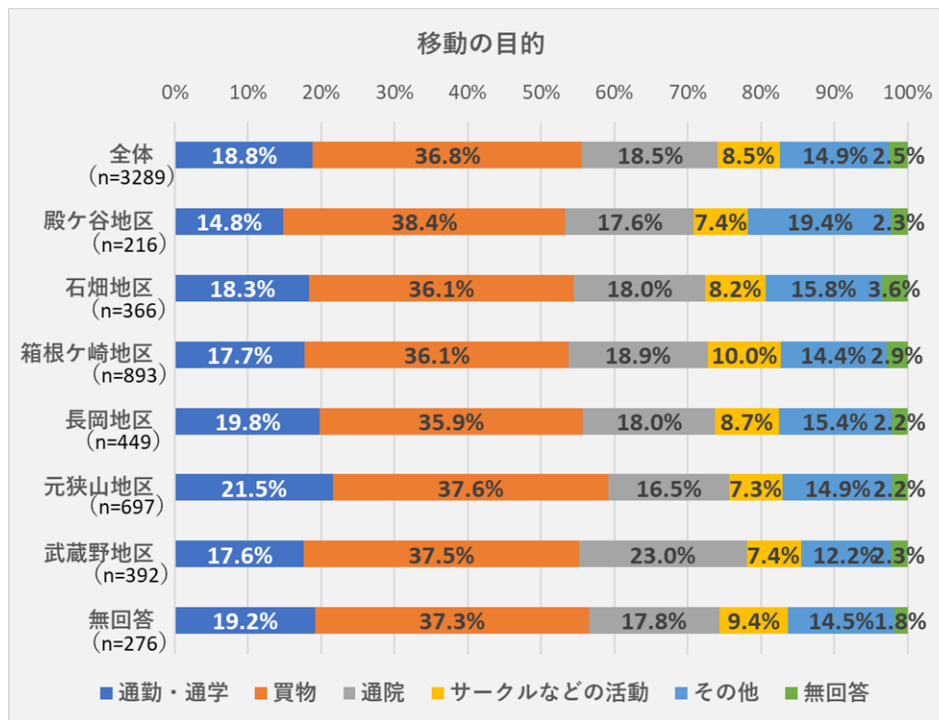
<利用者アンケートおよび町民アンケートより、単一回答>

- 町民では免許保有者71.7%のところ、利用者では54.4%



<利用者アンケートおよび町民アンケートより、単一回答>

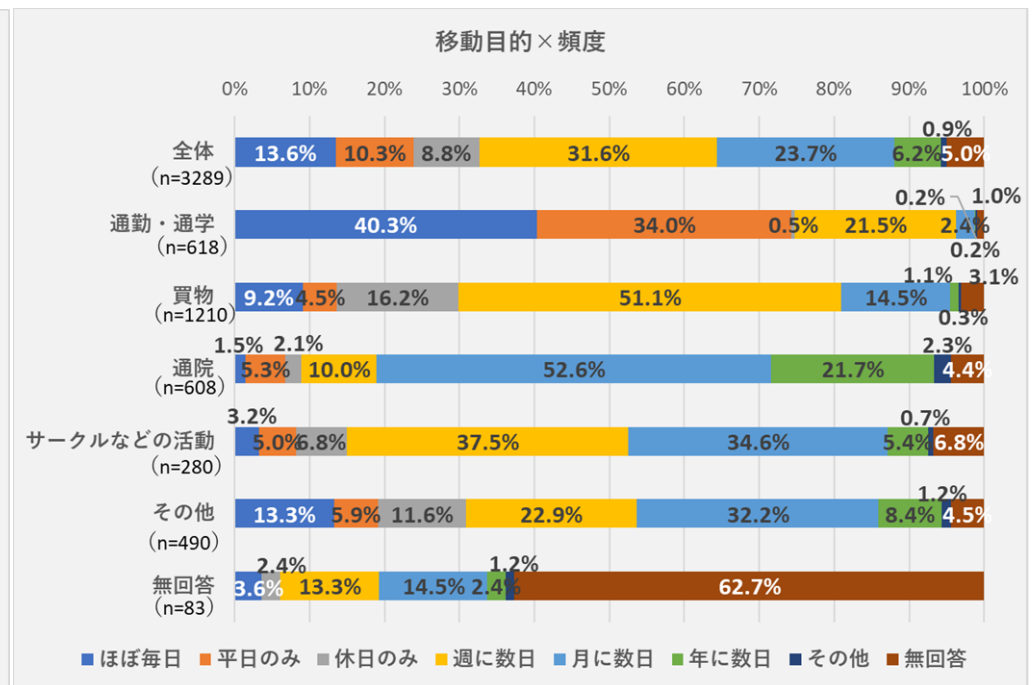
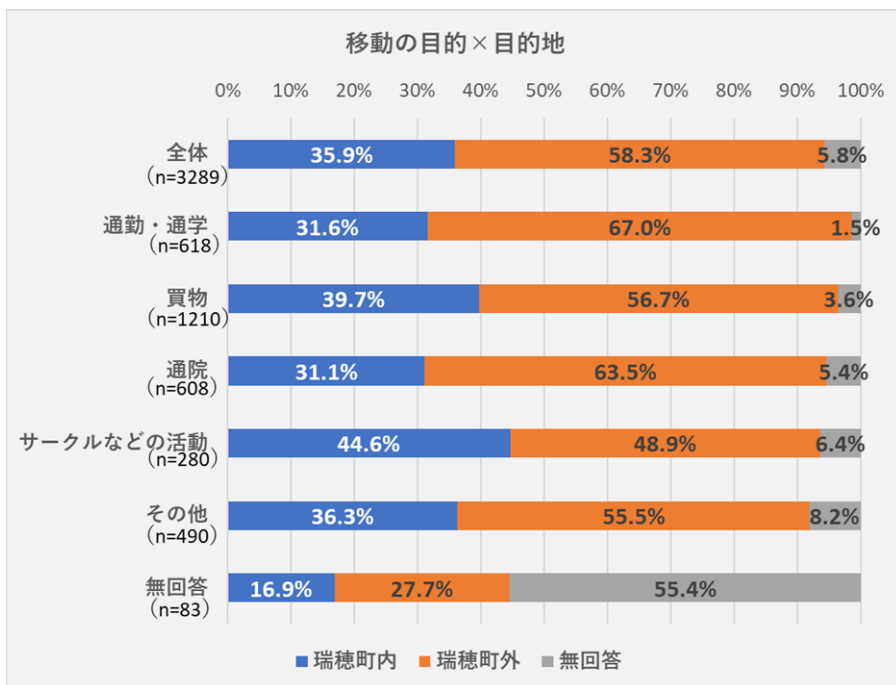
- 移動の目的は「買物」(36.8%)が一番多く、次いで「通勤・通学」(18.8%)「通院」(18.5%)の順
- 58.3%が瑞穂町外への移動。長岡地区、元狭山地区、武蔵野地区は町外の比率が高い



<町民アンケートより、単一回答>

※「最も多い外出」「2番目に多い外出」「3番目に多い外出」をまとめて集計

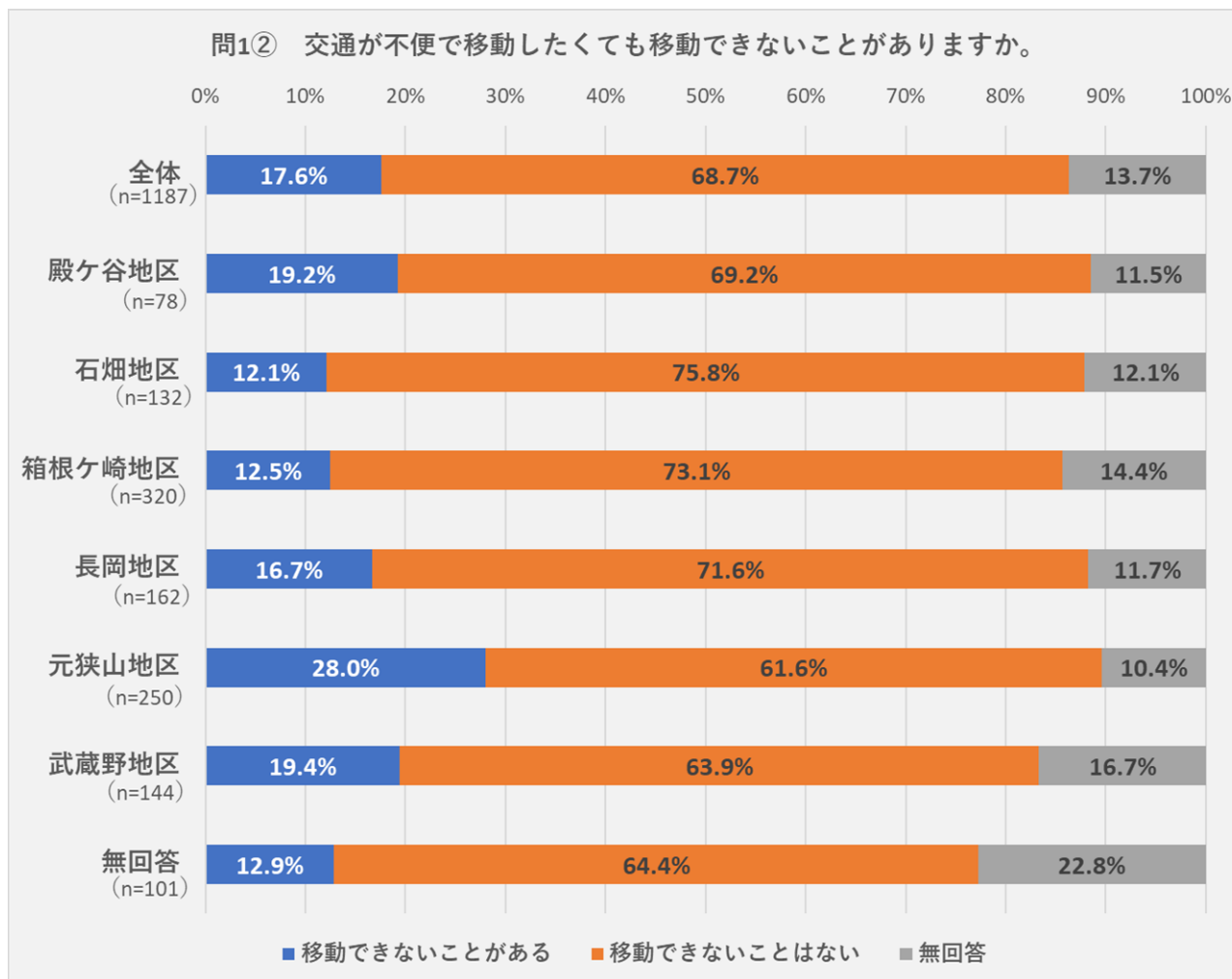
- 移動目的別に見ると、全体より「通勤・通学」は町外、「サークルなどの活動」は町内が高め
- 通勤・通学目的の移動は「ほぼ毎日」「平日のみ」で74.3%に達する。買物目的の移動では「週に数回」（51.1%）、通院では「月に数回」（52.6%）が高い



<町民アンケートより、単一回答>

※「最も多い外出」「2番目に多い外出」「3番目に多い外出」をまとめて集計

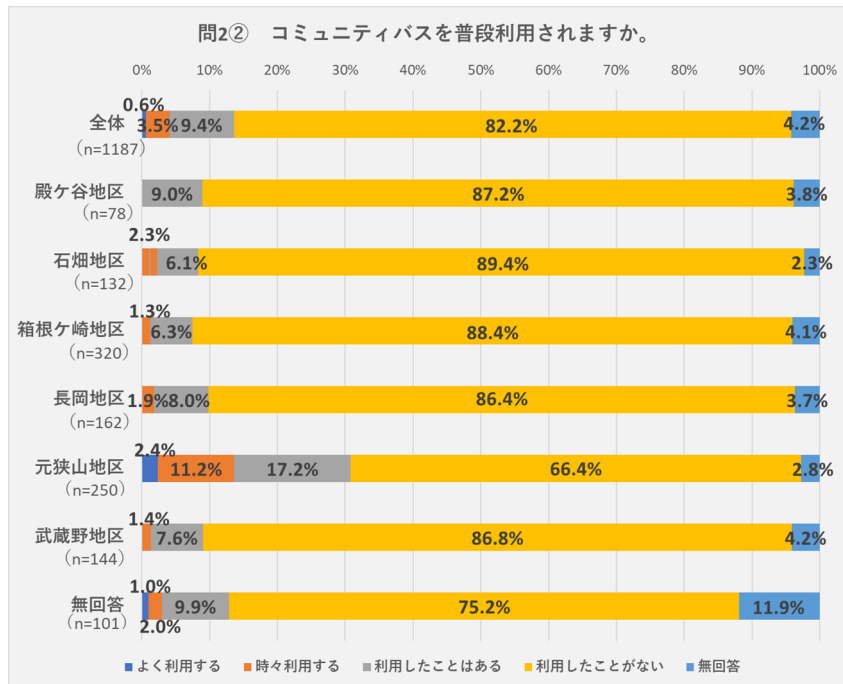
- 交通が不便で移動できないことがある人が**17.6%**
- 地区別に見ると、元狭山地区が**28.0%**で最も「移動できないことがある」が高い



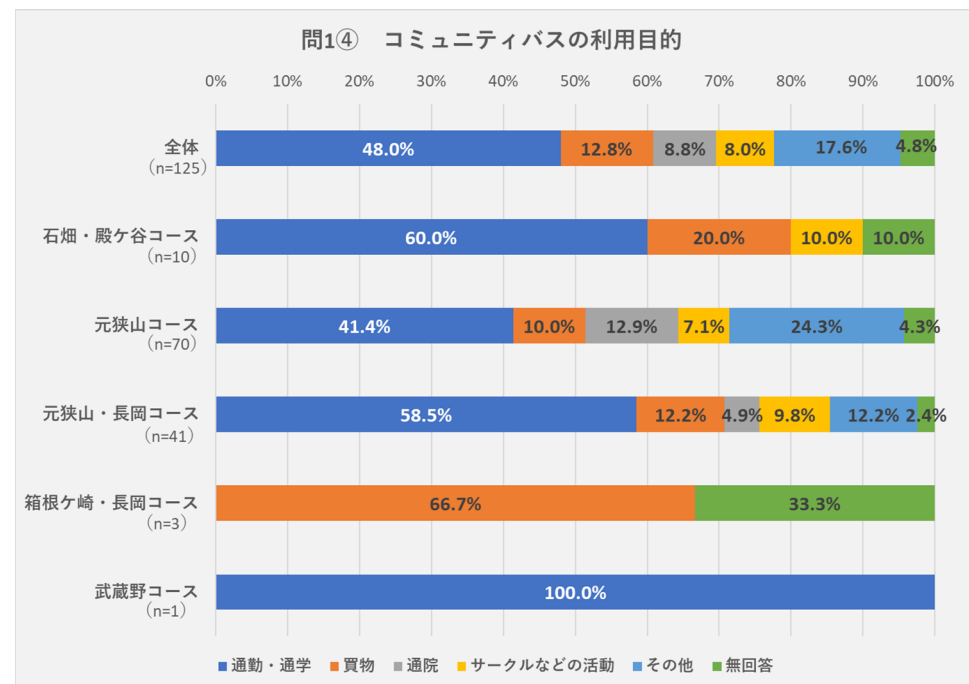
<町民アンケートより、単一回答>



- コミュニティバスを利用したことがあるのは全体で**13.5%**。元狭山地区では**30.8%**と全体を大きく上回る
- 利用目的は「通勤・通学」が**48.0%**で最も高く、次いで「買物」、「通院」の順

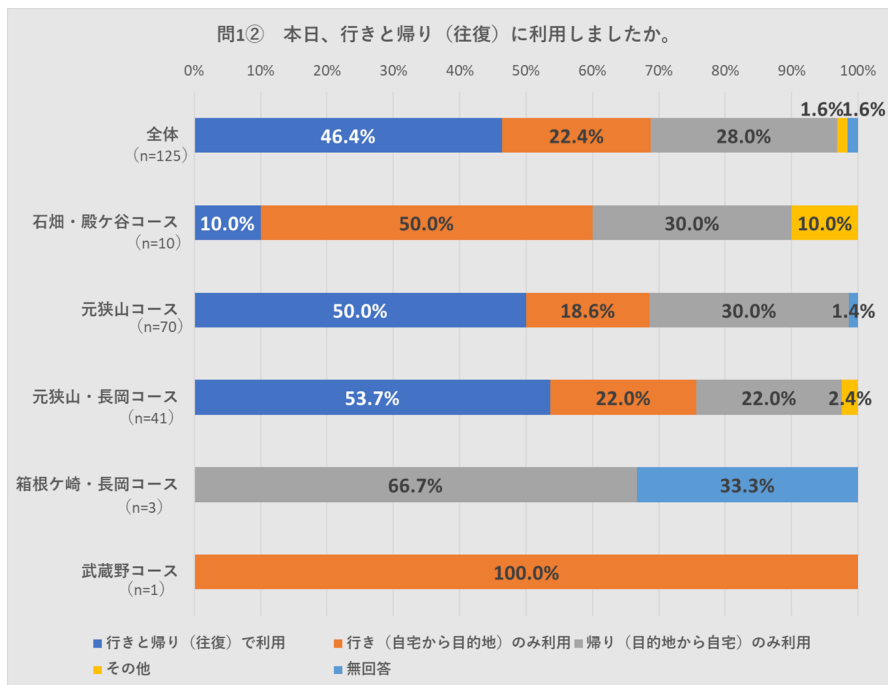


<町民アンケートより、単一回答>

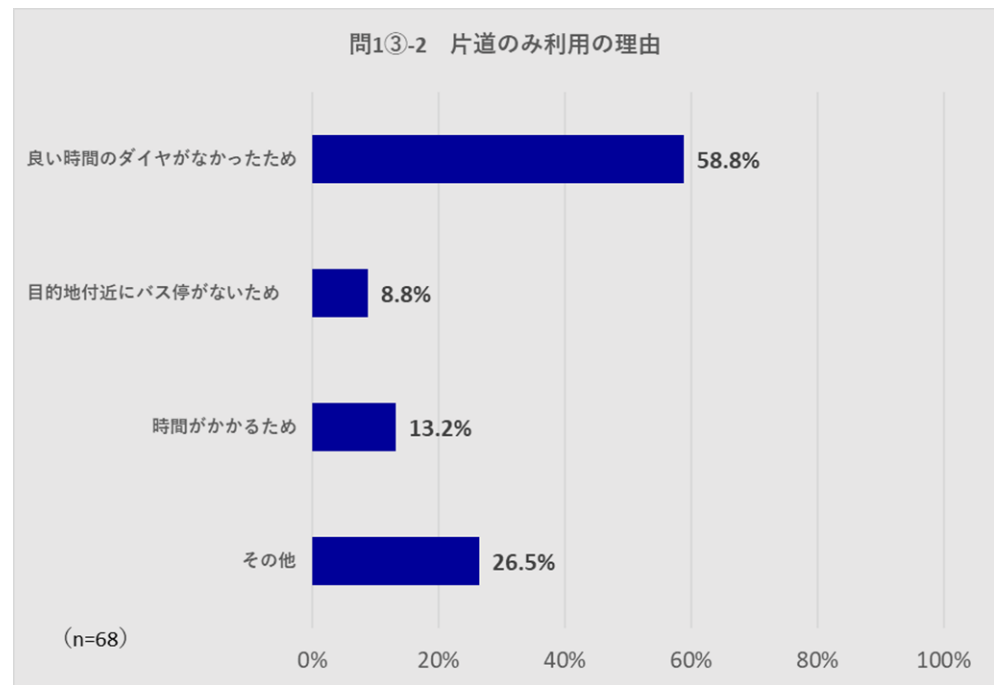


<利用者アンケートより、単一回答>

- 往復利用は全体の**46.4%**
- 「帰りのみ利用」(28.0%)が「行きのみ利用」(22.4%)を上回る
- 片道利用の理由では、**58.8%**が「良いダイヤの時間がなかったため」と回答

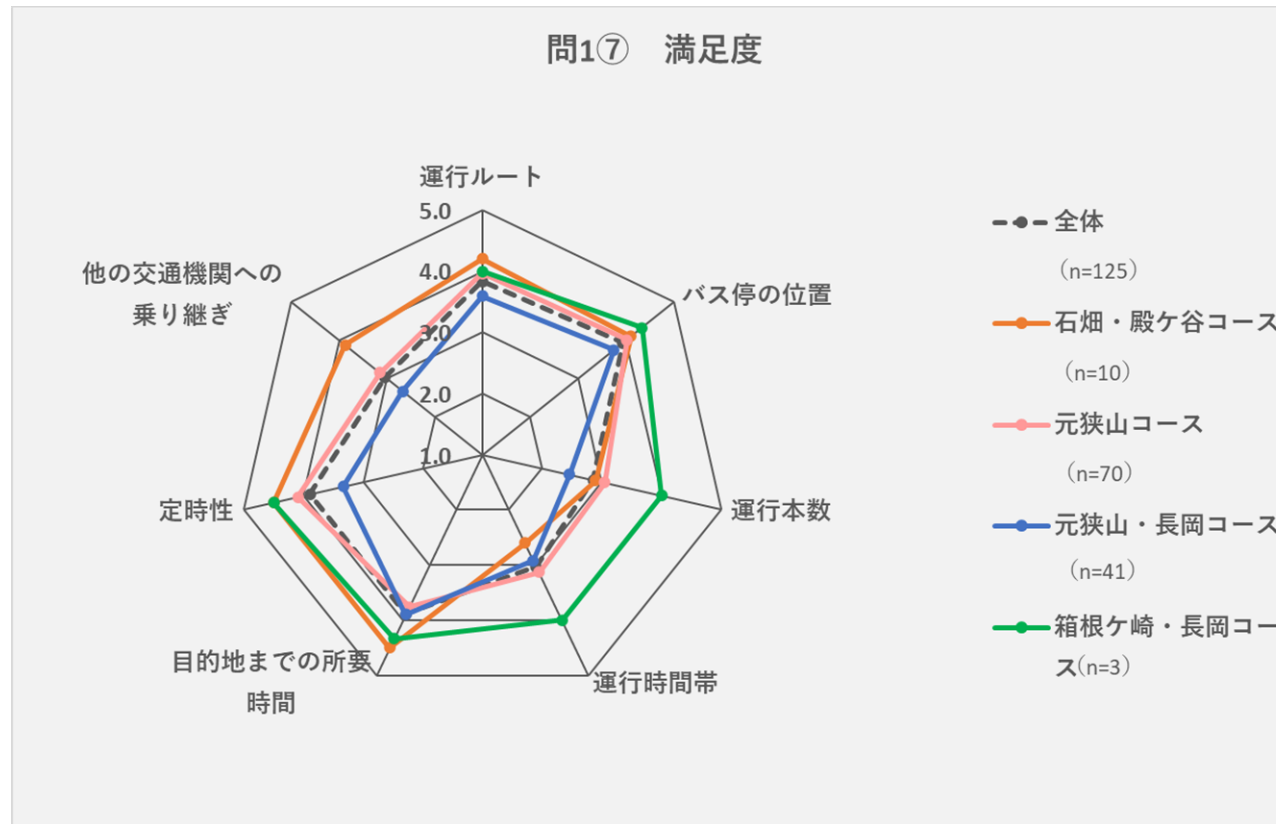


<利用者アンケートより、単一回答>



<利用者アンケートより、複数回答可>

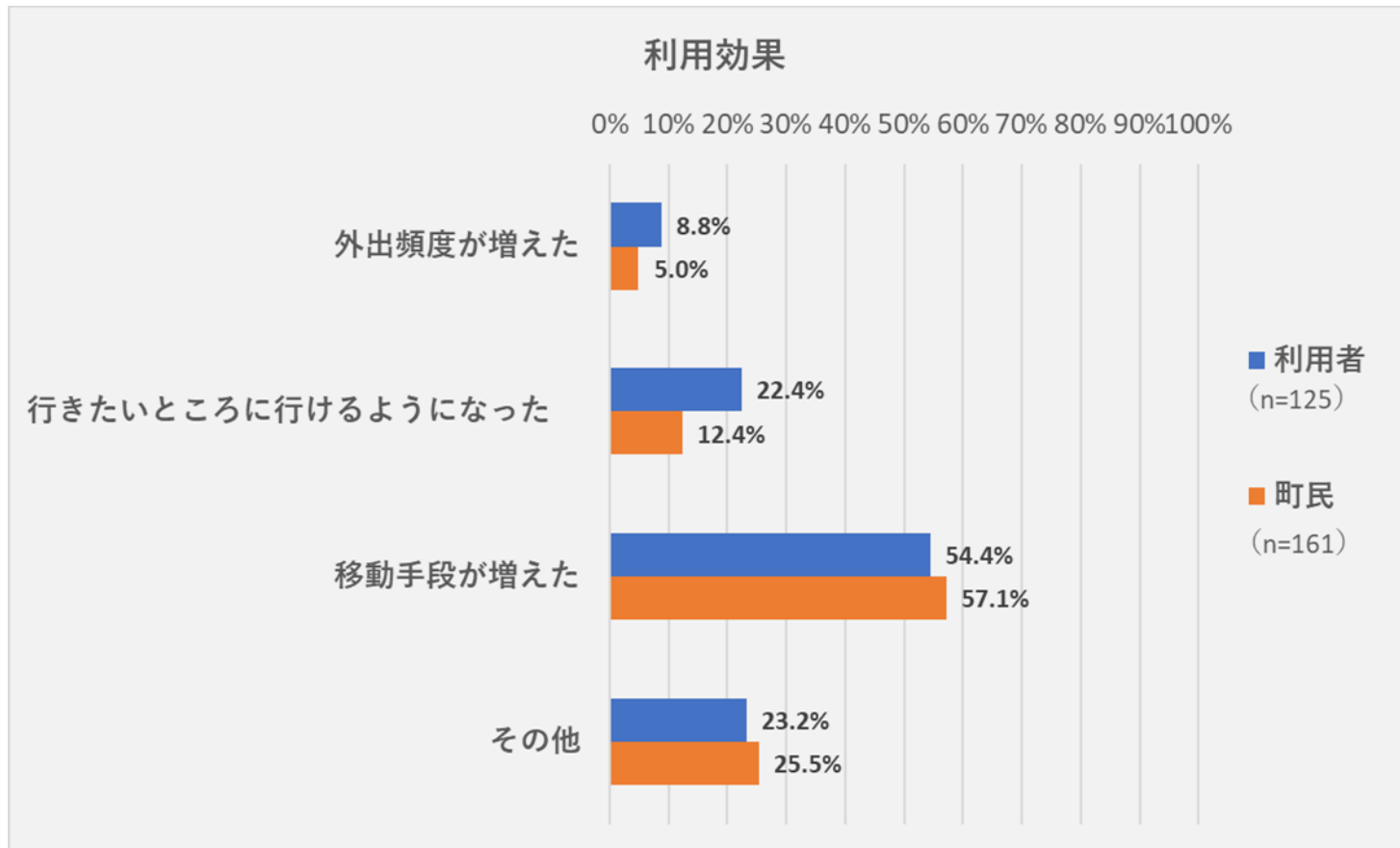
- 全体的に「運行本数」「運行時間帯」「他の交通機関への乗り継ぎ」は低い
- 元狭山コースは全体よりややスコアが高く、元狭山・長岡コースは低い



	運行ルート	バス停の位置	運行本数	運行時間帯	目的地までの所要時間	定時性	他の交通機関への乗り継ぎ
全体	3.83	3.94	2.86	3.03	3.89	3.89	3.04
石畑・殿ヶ谷コース	4.20	4.10	2.90	2.60	4.50	4.50	3.88
元狭山コース	3.97	4.02	3.05	3.13	3.76	4.10	3.15
元狭山・長岡コース	3.59	3.74	2.46	2.92	3.90	3.33	2.67
箱根ヶ崎・長岡コース	4.00	4.33	4.00	4.00	4.33	4.50	-
武蔵野コース	2.00	-	-	-	-	-	-

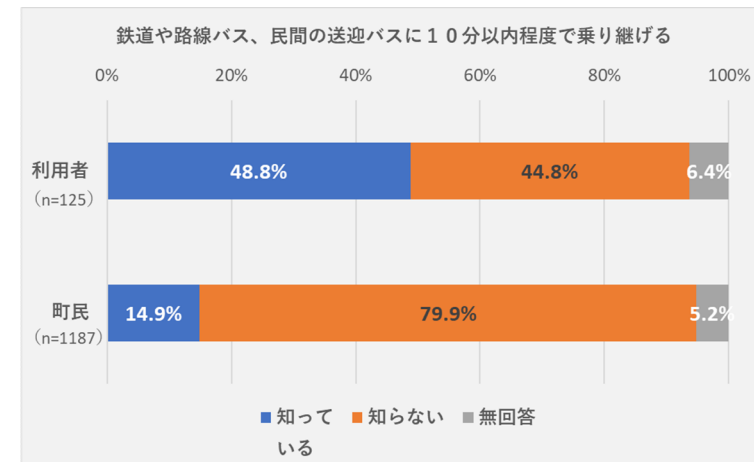
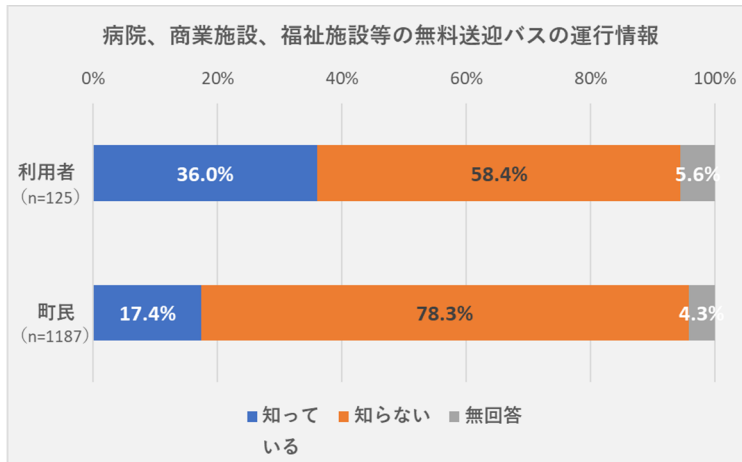
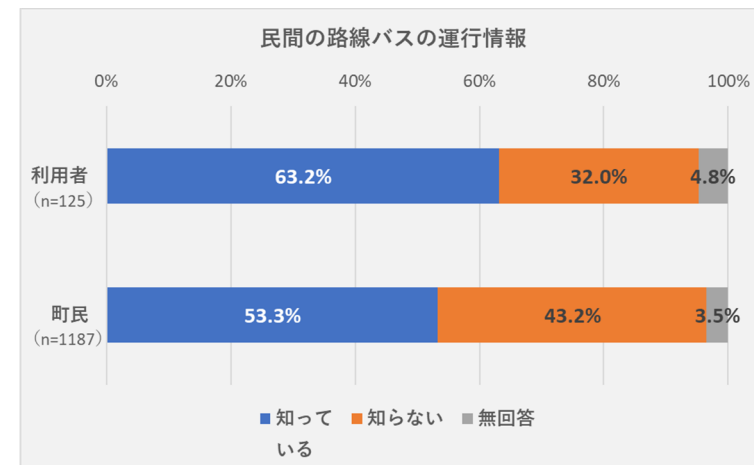
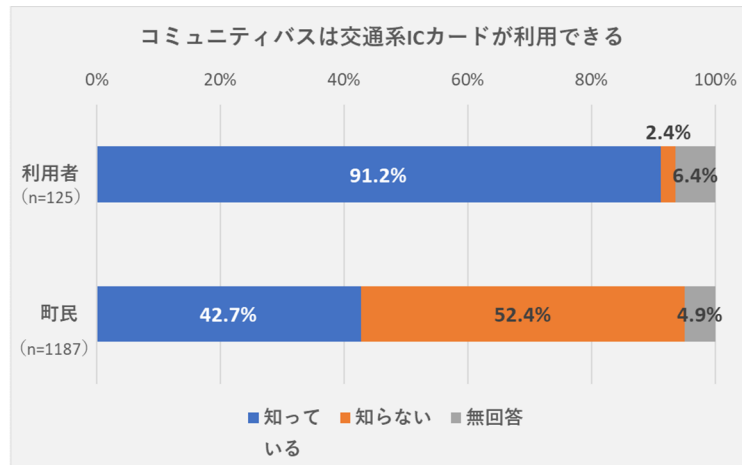
<利用者アンケートより、単一回答>  
 ※「満足」5点～  
 「不満足」1点までの  
 の平均値

- 利用者では54.4%、町民全体では57.1%が「移動手段が増えた」と回答
- 利用者は「行きたいところに行けるようになった」が22.4%で町民全体より10ポイント上回る



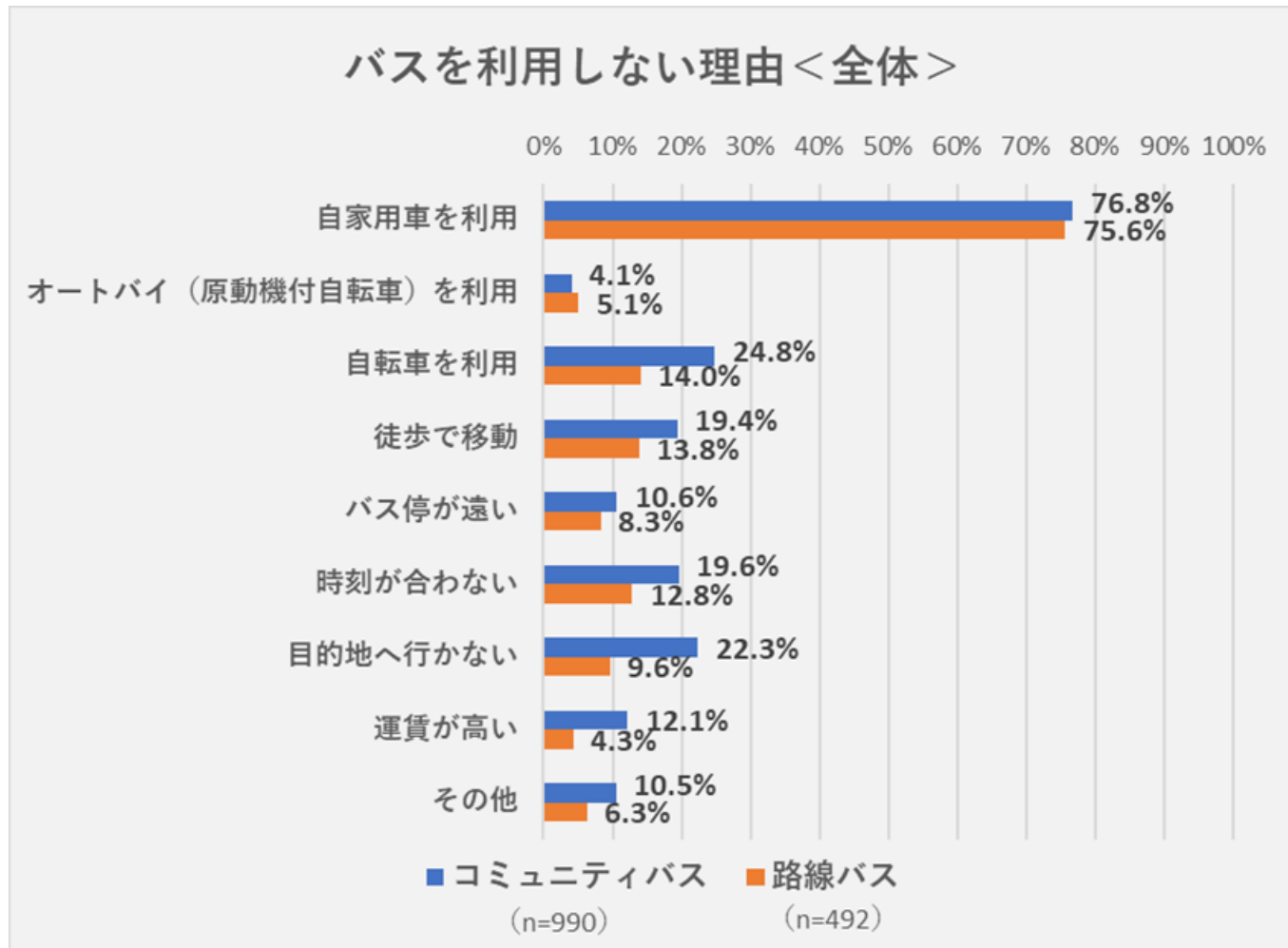
<利用者アンケートおよび町民アンケートより、複数回答可>

- コミュニティバスでのICカード利用は町民全体では**42.7%**の認知
- コミュニティバス利用者は、町民全体よりも民間路線バスの運行情報を把握
- 送迎バスの運行情報はコミバス利用者で**36.0%**と町民全体より高い認知
- 乗り継ぎ情報は利用者では**48.8%**の認知も、町民全体では**14.9%**



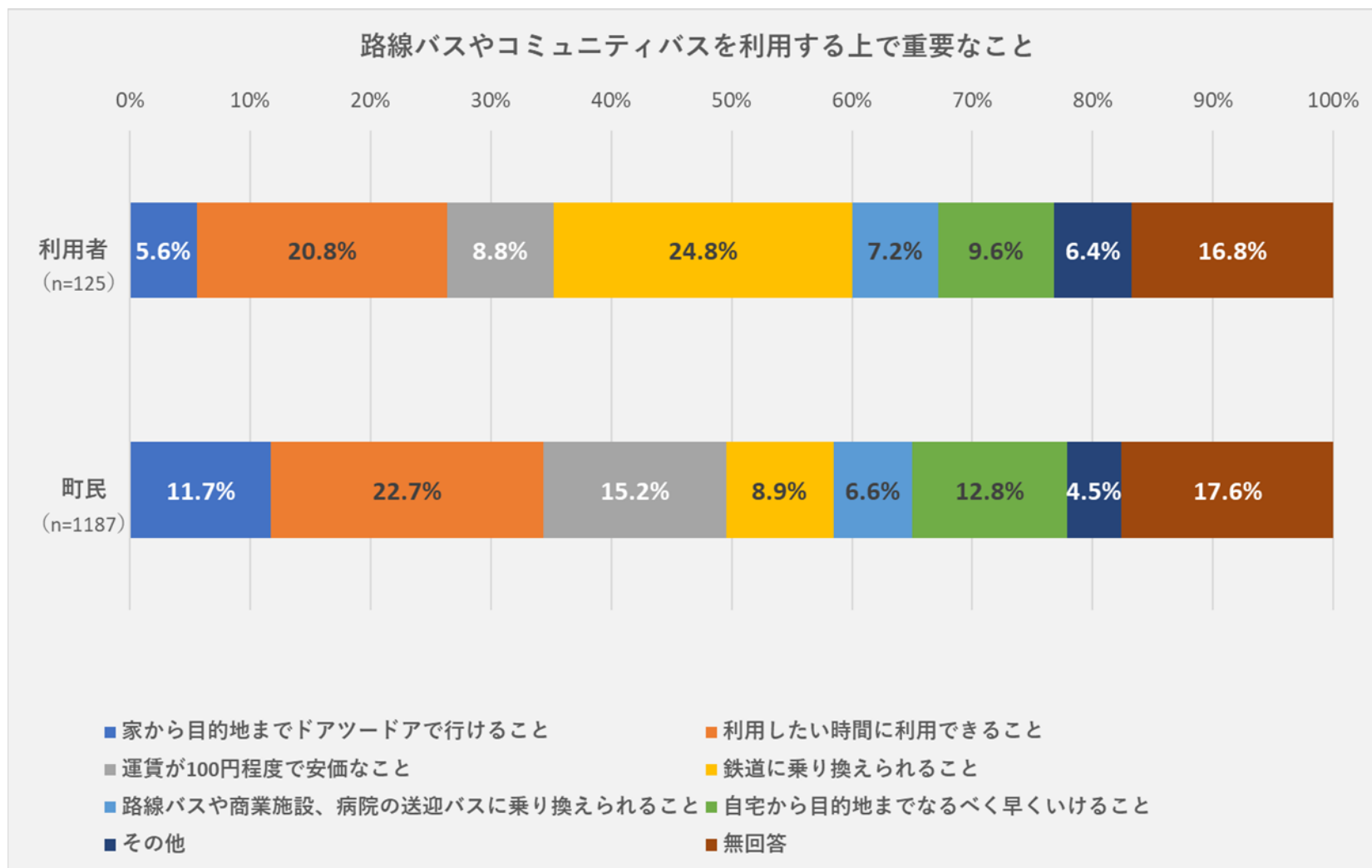
<利用者アンケートおよび町民アンケートより、単一回答>

- コミュニティバスでは76.8%、路線バスでは75.6%が「自家用車を利用」と回答
- コミュニティバスでは「目的地へ行かない」が22.3%で路線バスより高い



<町民アンケートより、複数回答可>

- 利用者では「鉄道に乗り換えられること」が24.8%で最も高い
- 町民では「利用したい時間に利用できること」が22.7%で最も高い



<利用者アンケートおよび町民アンケートより、単一回答>

- 殿ヶ谷・石畑・長岡・元狭山地区では乗り継ぎ情報の提供が2位に
- 箱根ヶ崎・武蔵野地区では「運賃が100円程度になったら」がトップ3に入る

< 殿ヶ谷地区 > (n=78)

利用したい時間帯にバスがあったら	41.0%
鉄道、路線バス、民間送迎バスとの乗り継ぎ案内情報の提供があったら	30.8%
自宅の近くにバス停ができたなら	28.2%

< 石畑地区 > (n=132)

利用したい時間帯にバスがあったら	37.9%
鉄道、路線バス、民間送迎バスとの乗り継ぎ案内情報の提供があったら	31.1%
自宅の近くにバス停ができたなら	30.3%

< 箱根ヶ崎地区 > (n=320)

利用したい時間帯にバスがあったら	41.0%
自宅の近くにバス停ができたなら	30.8%
運賃が100円程度になったら	28.2%

< 長岡地区 > (n=162)

利用したい時間帯にバスがあったら	45.1%
鉄道、路線バス、民間送迎バスとの乗り継ぎ案内情報の提供があったら	34.0%
自宅の近くにバス停ができたなら	30.2%

< 元狭山地区 > (n=250)

利用したい時間帯にバスがあったら	49.6%
鉄道、路線バス、民間送迎バスとの乗り継ぎ案内情報の提供があったら	31.2%
自宅の近くにバス停ができたなら	36.0%

< 武蔵野地区 > (n=144)

利用したい時間帯にバスがあったら	34.0%
運賃が100円程度になったら	34.0%
自宅の近くにバス停ができたなら	31.9%

< 町民アンケートより各地区上位3項目、複数回答可 >



- 長岡地区、武蔵野地区以外では「箱根ヶ崎駅」が最多
- 「ジョイフル本田」がすべての地区でトップ3に入る

< 殿ヶ谷地区 > (n=78)

箱根ヶ崎駅	14件
ジョイフル本田	8件
イオンモールむさし村山	4件

< 石畑地区 > (n=132)

箱根ヶ崎駅	27件
ジョイフル本田	8件
町役場	4件

< 箱根ヶ崎地区 > (n=320)

箱根ヶ崎駅	44件
羽村駅	19件
ジョイフル本田	18件

< 長岡地区 > (n=162)

羽村駅	22件
箱根ヶ崎駅	21件
ジョイフル本田	15件

< 元狭山地区 > (n=250)

箱根ヶ崎駅	66件
ジョイフル本田	18件
羽村駅	15件

< 武蔵野地区 > (n=144)

ジョイフル本田	14件
羽村駅	11件
福生駅	10件

< 町民アンケートより各地区上位3箇所、自由回答 >